

みまた広報

No. 5

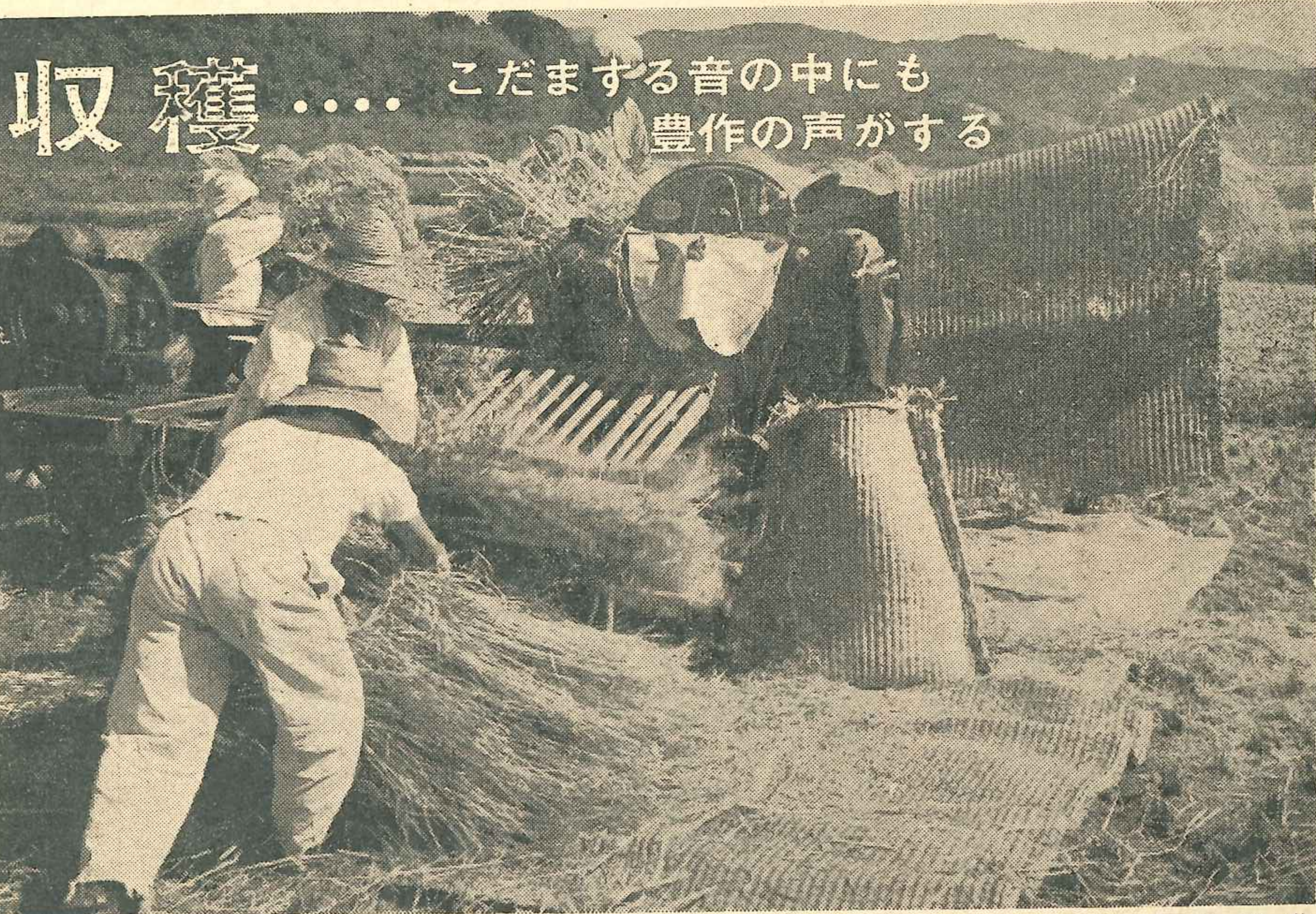
昭和38年

11月1日

発行 三股町

編集 総務課

三股の名の起源
 ある記録に「古は川
 条の股にて流れたり
 と言う」とあってそ
 の名三股をとどめて
 いると言われており
 ます。 町史より



収穫... こだまする音の中にも
 豊作の音がする



十一月です。
 「霜しきりに降るゆえに霜
 降り月という」と言われて
 陰歴では十一月のことを「
 しもつき」と呼んでおりま

晩

私達の住む郷土、南国は暖
 かい日ざしに恵まれて、毎
 日こちよ小春日和が続
 いております。

秋

静かに深まりゆく秋の風情
 にそえて庭先きに咲き乱れ
 たコスモスの花も秋風にわ
 びしく散りそめて、そして
 美しくゆかしい菊の花も咲
 きにおう晩秋の候です。
 農家では稲の刈入れや、脱
 穀などに追いまわされるう
 ちにこよみの上では八日は
 もう立冬です。
 あちらにもこちらにもけた
 たましい脱穀機の音がひび
 いて、史上二番目と言われ
 る豊作に思わず顔もほころ
 びる今日此の頃の田園風景
 です。

秋の夜長を一ぱいのお茶に
 昼間の疲れをいやしながら
 笑いのうちに豊作を語り合
 うなごやかな家庭だんらん
 も又楽しいひとときであ
 ります。
 さて愈々こたつも恋しい頃
 になると家庭に於いては各
 種家庭電気器具その他火気
 の使用が多くなって参りま
 す。
 その上空気が乾燥して火災
 の発生件数が多くなりま
 す。
 こうした火災の季節に入る
 に当って皆んなが火災に対
 する用心を高めて切角の稔
 りをふいにしないようにい
 たしたいものです。

老人クラブ

続々誕生

四十、五十はまだ鼻たれ
 小僧などとよく聞かれる言
 葉ですが、近年平均寿命の
 大はばな延びと共に今や六
 十、七十はまだ働き盛りと
 も言えるんじゃないでしょ
 うか。

こういった年令層の方々が
 今後も益々健康で豊かな生
 活が続けられるように今各
 部落にそれぞれ福寿会、青
 柳会と名づけて老人クラブ
 が続々結成されておりま
 す。

政治、宗教にとらわれるこ
 となく同一地域のおおむね
 六〇才以上の希望者はだれ
 でも差別なく会員になれる
 ようになっております。
 そしてなごやかなふんいき
 の中にたがいに教養の向
 上、健康の増進、或いはレ
 クレション等を通じて楽
 のしい平和な地域社会を築
 くことが目的とされており
 ます。



なごやかなクラブ結成風景

選挙

十一月二十一日は
 正しい投票を

衆議院議員
 の選挙投票日
 は十一月二十
 一日です。
 選挙にあたっては真剣に考

え、買収やもてなし、情実
 などにとらわれることなく
 ほんとうに私達の為になる
 人を自分自身でえらんで正
 しい一票を投じましょう。

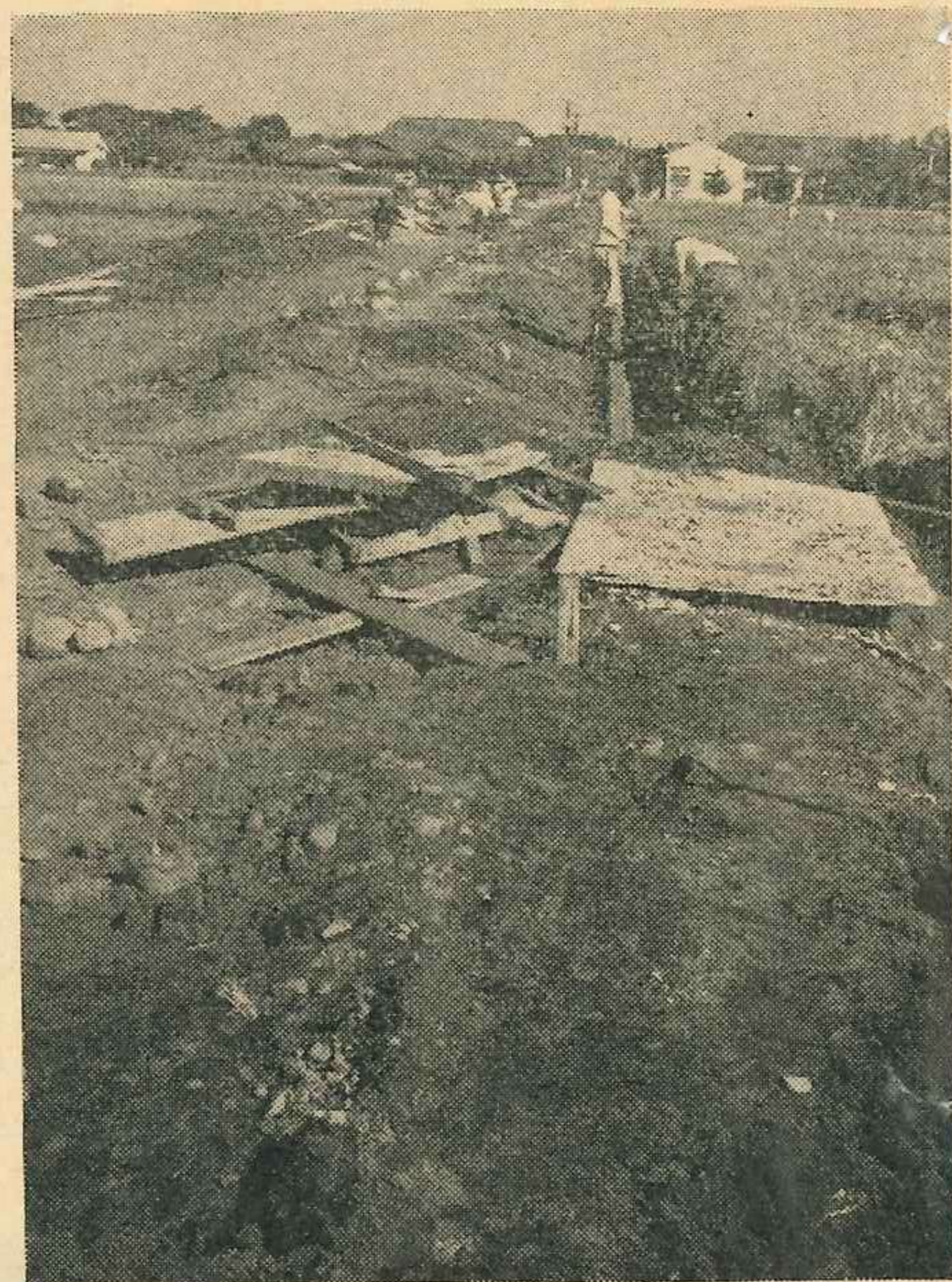
尚その活動助成費として一
 クラブ当り月一、五〇〇円
 の補助金が出されることに
 なっております。
 現在すでに結成されている
 クラブは中米、樺田、梶山
 (三クラブ)、寺柱、東原、
 山王原前目の九クラブとな
 っており、今後更に波及す
 るだろうと考えられます。



三股、都城の境界附近を横断する、
植木、今市線の新設工事 巾員7米

山王原、上米線改良工事

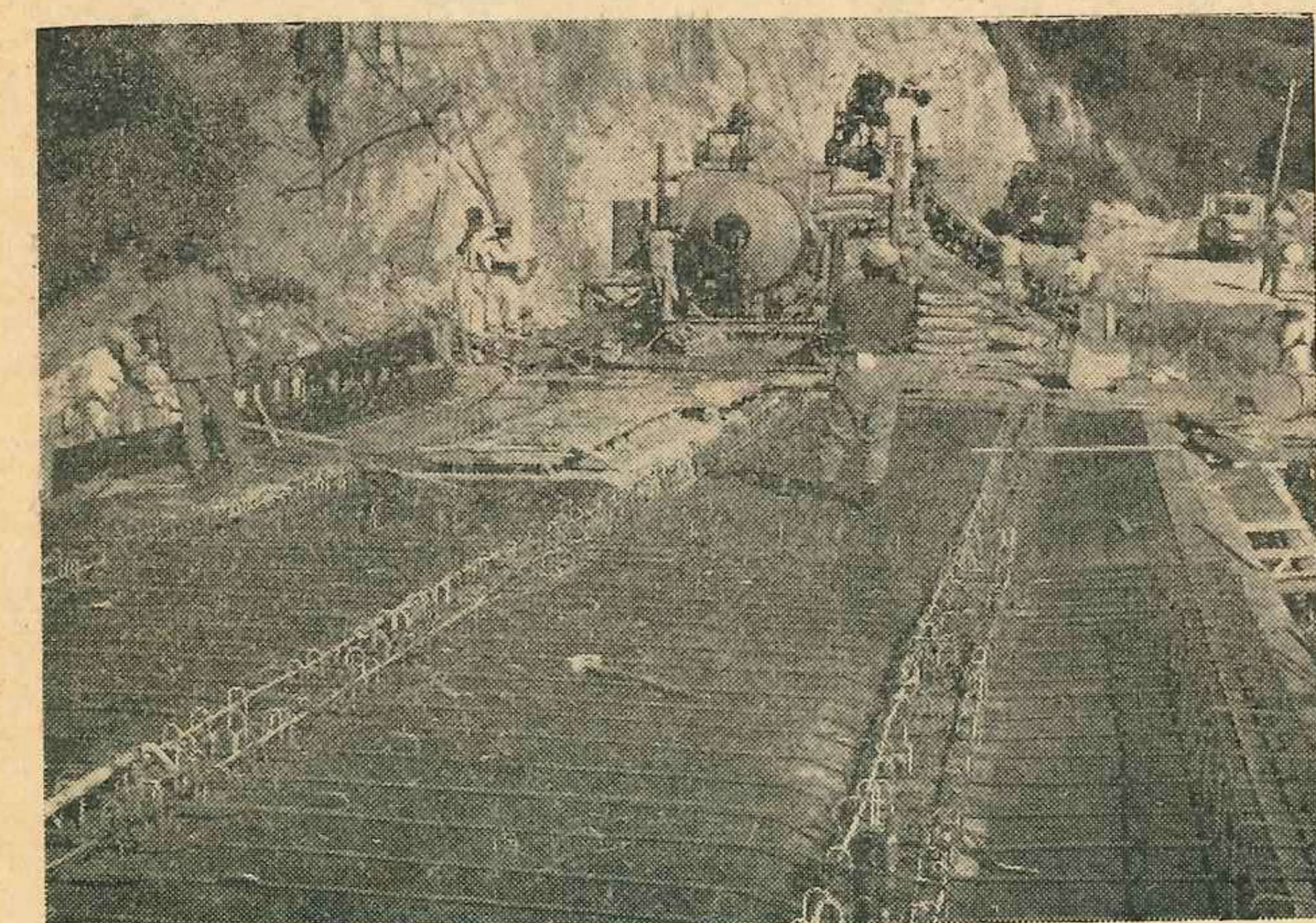
巾員五米から十一米へ拡張



二級国道夢池地区改良工事(国の委託による県営事業)
五、五米から八、五米へ拡張



山王原(坂元線)舗装工事(県営)
今年度分約400米これで山王原地区は舗装完了



奥地開発は進む 坂元線、 笹矢谷橋永久化工事(県営)

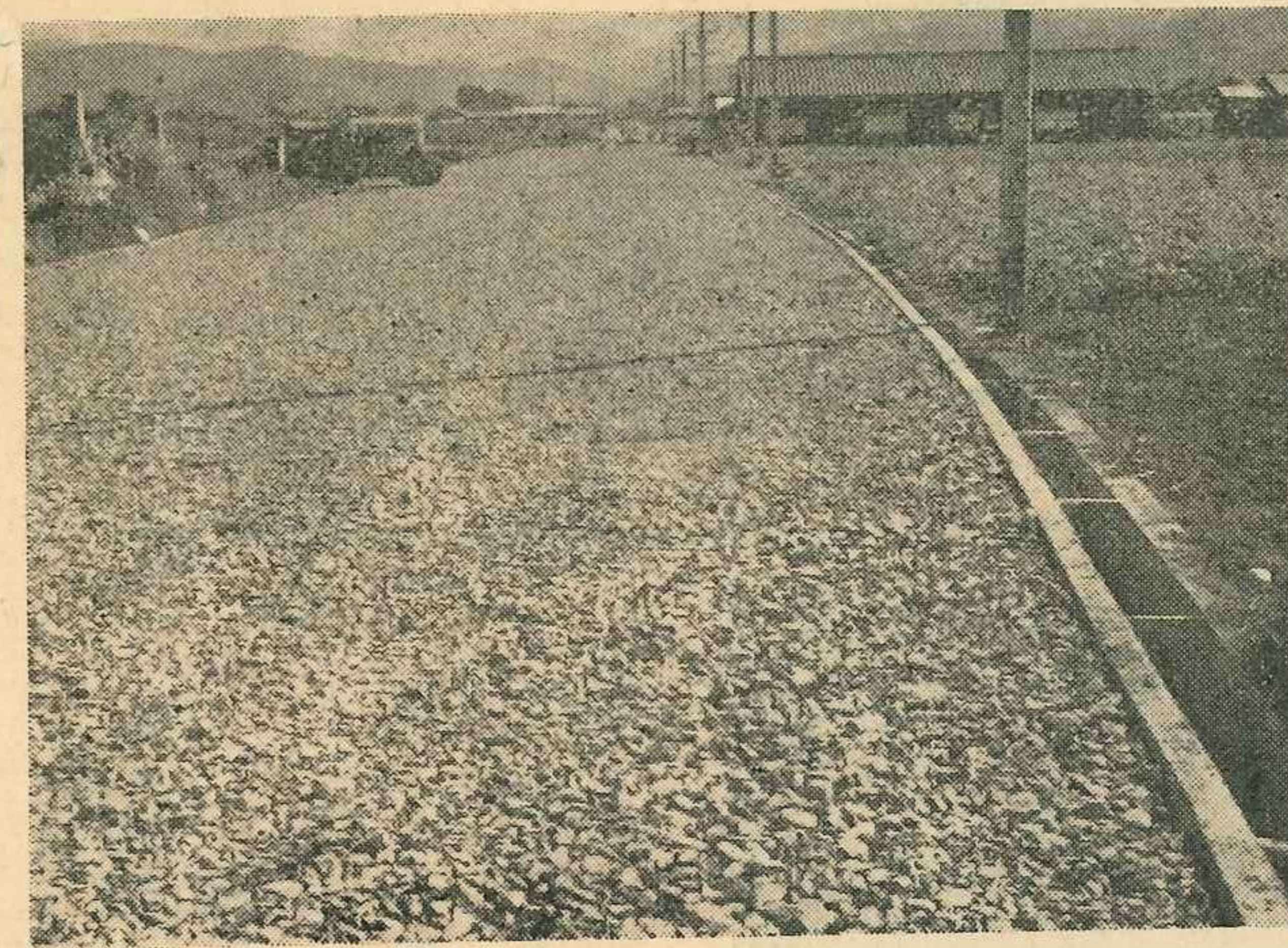


新馬場踏切立体化工事着々進行(県営)

建設 特集 のひびき

工事は急びつち

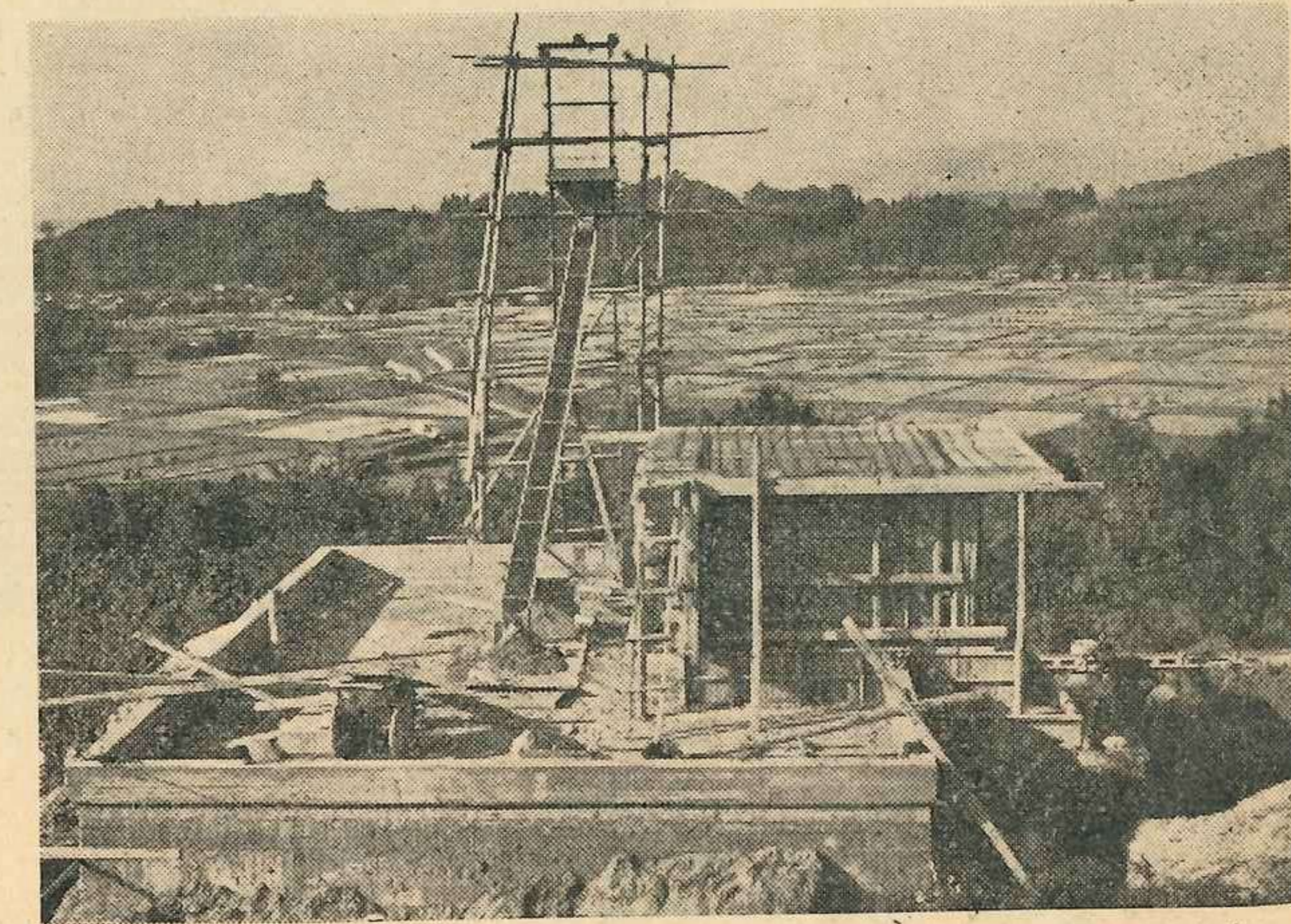
本町に於いてはただ今土木に建築に町づくりの工事は各所に急びつちで進められております。
現在施行されている工事は、町営七ヶ所、県営四ヶ所、国費一ヶ所、その工事費総額が約一億五千万円の巨費が投じられて我が三股町は刻々新しい近代的な町に変わりつつあります。
近代化に向ってたえず躍動を続けつつある現況を今回はカメラでお知らせいたします。



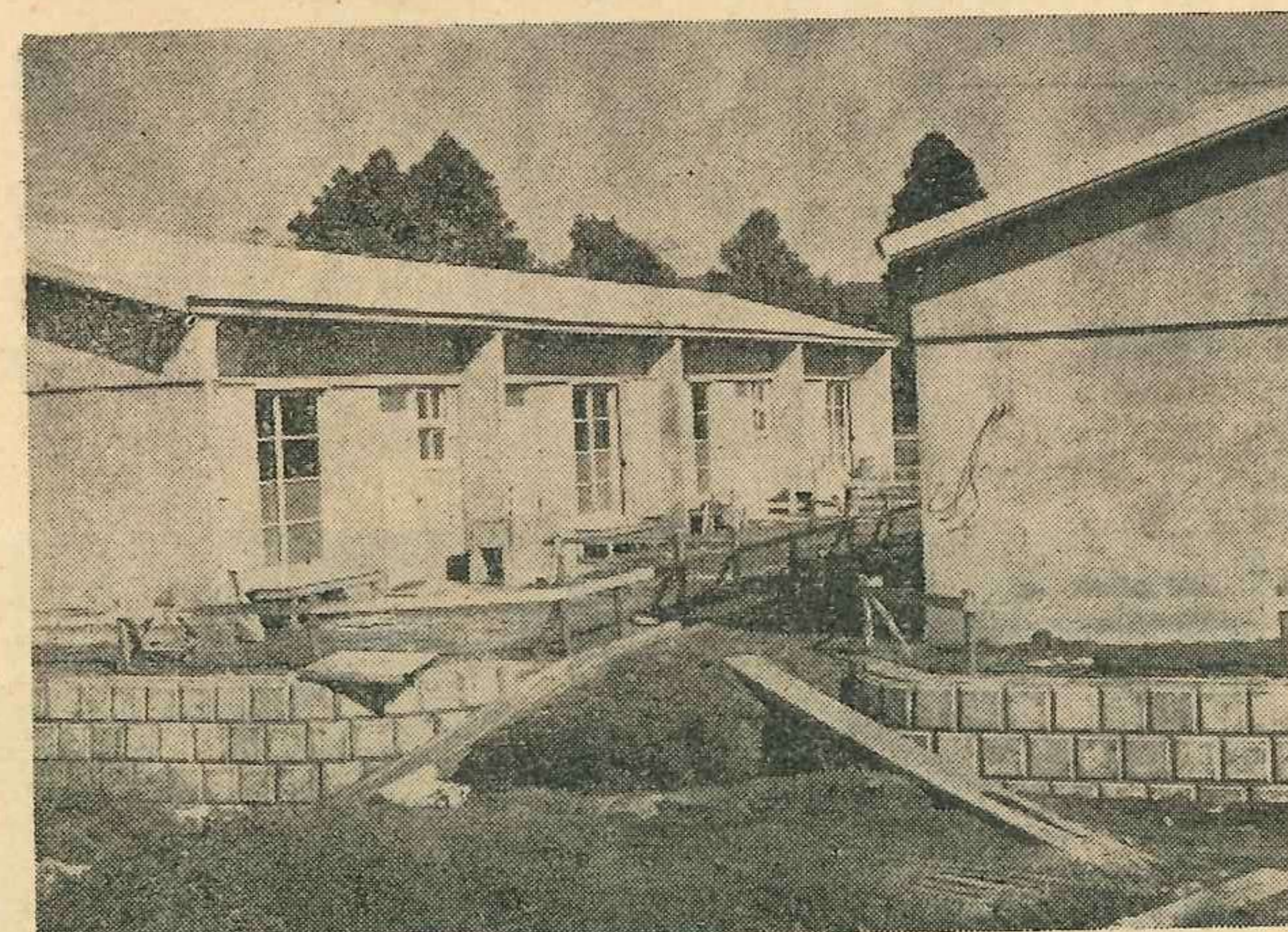
躍進三股町の先駆 都三道路の舗装工事現場
現在まで1,400米余の舗装化なる。



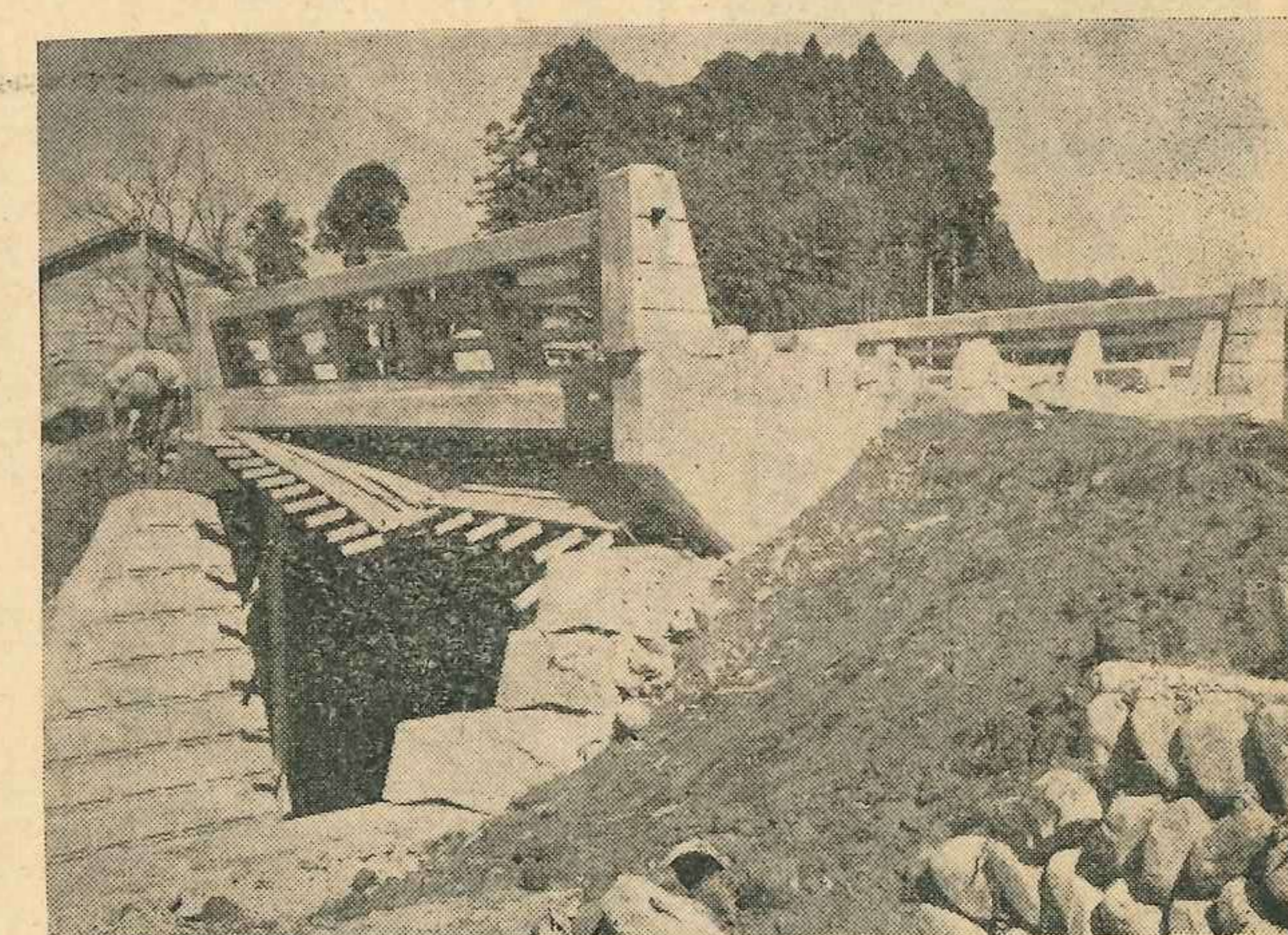
町づくりは教育の場から
三股小一〇教室鉄筋化工事愈々着工



展望絶景、中野山の中腹、5,000人分の供給源
北部地区簡易水道配水池建設工事現場



町営住宅は今年度建設36戸、総戸数222戸となる。
写真は今年度建設山王原団地(12戸)



地元民待望の上米、中米間蔵元橋永久化なる。

幼児教育は よい環境で

宮村保育所も開設

人づくりは先ず幼児教育から、本町に於いてはその重要さに着目し、早くからその関係者と共に保育所、幼稚園を町内全域への設立を推進しております。

先ず中央（広濟寺）、光（光明寺）両保育所の開設として町営大野へき地保育所の設立。又みまた幼稚園も去る四月より発足を見えます。

今回更に宮村地域住民数年来の宿望が実り大鷲巣公民館に町営宮村へき地保育所が設立されました。

その入所式は去る十月一日行なわれ、園児五五名、それぞれ希望にみち、「僕も私も今日から楽しい一年生」と喜々として町長さん

十一月一日から狩 猟解禁になります

いよいよ十一月一日から狩猟解禁になります。

最近のガンブームで猟をする人が多くなりましたが、一方事故も増える傾向にありますので狩猟をされる方は関係法令や規則をよく守り猟銃や空気銃の取り扱いには十分注意して危険のないようにして下さい。

読書の秋



小さな胸にも希望は満ちて
(宮村保育所開所式にて)

それを見守る父兄の笑顔、丁度収穫の秋を迎え、ねこの手も借りたい忙しい時、その喜びは大変なものでした。

この保育所が地域住民に与える福祉は大なるものと大いに期待されております。

尚保育所の先生は馬渡三枝、花房フミ子さんの二人であります。

投稿欄

秋も愈々深まる或る一日、私達民生委員は町立老人ホーム静流荘を訪れました。

職員のところよい笑顔に迎えられて各部屋、各施設を案内されました。真新しい畳のかおりもただよう各部屋はそれぞれ心づくしの一輪の花も飾られて又庭園に目を転ずれば、花は一面に咲き乱れた美しい環境に一瞬我々も天口にさそいこまれたような感懐にひたりました。

老人ホームを慰問して

民生委員総務 黒木 清之助

私達は我々民生委員が入園をすすめた方々がどんな気持ちでどんな様子で入園生活を送っておられるだろうか、それを見聞するののも一つの念願でもありました。

ほどなく広間に集っていただき、桑畑施設長の言葉のあとに続いて私が民生委員を代表して御慰問申し上げた後座談会に入りました。

が、入園者の老人と共に互いに膝を交えて、過ぎし日の苦しかった思い出、入園後の楽しいあけくれの話はつきるところを知らず、今はもう不幸という言葉はどこかに置き忘れたか

のような、本当に朗らかで幸福そうな姿に接し我々一同ほっと安心した次第であります。

この楽しい話し合いの中に町外からのある老人は「三股という処は本当に有難い処ですね」と繰り返して繰り返すうちにこれが入園者全員のいえました。

想像もつかなかったであろう立派な施設と心からのもてなし、過去の境遇と比較する時に自ずから出てくる感謝の言葉でありました。

現在入園者四五名、老人福祉法制定に先がけて町為政者の賢明なる施策とその努力と又老人ホーム職員一同の心からの奉仕が実を結んだものと深く感じつつ老人ホームを辞しました。



養老院内部